

2019年度新規講座

～具体的ケースとディスカッションで身に付けるIFRS思考～

“IFRS対応力向上” ディスカッション・トレーニング講座（全5回）

会計教育研修機構では、2019年度の新設プログラムとして、「～具体的ケースとディスカッションで身に付けるIFRS思考～ “IFRS対応力向上” ディスカッション・トレーニング講座（全5回）」を開催いたします。

本コースは、毎回、IFRS適用企業において議論となりうる会計上の論点や監査対応などをテーマとしたケース題材を取り上げ、4名～5名を1グループとして、受講者同士でのディスカッションとプレゼンテーションを主体としたアウトプット型の講座です。

必ずしも正解がないテーマについて、自分の経験や知識を踏まえ、他者の意見も聞きながら、グループで一定の成果を導き出すプロセスを大事にしていきます。そのプロセスの中で、IFRS対応において特に大事な「原則主義のもと、自分の頭で考えて、トップマネジメントや監査人を論理的に説得する力」を身に付けることをねらいとしています。ディスカッションを通じて会計実務を洞察し、実務対応力を養います。また、プレゼンテーションを通じて論理的に説得する力を養います。更に、全5回の受講を通して、日ごろの会計実務上の課題や悩みを受講者間・講師と共有し、人的ネットワークを広げる機会となることを期待しています。

概要 ※応募者多数の場合は抽選となります

講師 若松弘之氏（公認会計士） / 布施伸章氏（公認会計士） / 田邊るみ子氏（HOYA株式会社 元IFRSプロジェクトリーダー 公認会計士）

テーマ	内容	日程
1 IFRS総論	・IFRS適用の意義と効果(財務会計vs管理会計) ・財務報告に関する概念フレームワークの理解 ・コスト・ベネフィットや重要性の考え方	9月9日(月) 18:30～20:30
2 有形固定資産	・償却方法や耐用年数の見直し ・減損におけるグルーピングや資金生成単位の判断及び減損の兆候の捉え方	9月30日(月) 18:30～20:30
3 企業結合と無形資産	・M&A実行時における取得原価の配分(PPA)の実務ポイント ・のれんの減損検討におけるグルーピングの問題	11月11日(月) 18:30～20:30
4 収益認識	・一時点での認識か、一定期間にわたる認識か？ ・本人・代理人の判断と収益の総額・純額表示の問題	11月25日(月) 18:30～20:30
5 連結範囲	・支配の判定（パワーとリターン）における実務争点 ・会計方針の統一と決算体制	12月9日(月) 18:30～20:30

研修効果

- ✓ IFRSと日本基準の視点や判断ポイントの違いを意識しながら、日常のIFRS会計業務に役立つ考え方が身につく
- ✓ 他社のIFRS経理・財務担当者等とのディスカッションやプレゼンテーションを通じて視野が広がる
- ✓ 会計監査人側の視点や判断プロセスを学ぶことで、監査対応を実効性を高める

対象者

IFRS適用企業において会計実務に従事している経理・財務担当者、経営管理担当者、IFRS監査等に従事している公認会計士など、原則として全5回を継続して参加できる方(定員約30名)

参加料

- JFAEL会 員：25,000円/全5回
- JFAEL非会員：50,000円/全5回  
(上記金額には、懇談会費（第2回の開催終了後）を含みます。)

※参加料は、事前にお振込みいただくことを予定しております。講座のメンバーが確定した後に、別途、ご案内いたします。

会場案内

東京金融ビレッジ（定員約30名） 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-7 大手町フィナンシャルシティサウスタワー5F

【最寄り駅】大手町駅

- ・東京メトロ：丸の内線A1（鎌倉橋方面） 出口直結、半蔵門線・千代田線・東西線もご利用いただけます。
- ・都営三田線

お申込

お申込締切：8月26日（月）

こちらの申込ボタンまたはQRコードよりお申込みください。

お申込はこちら

<http://urx2.nu/wAq5>



※応募者多数の場合は抽選となります。  
※お申込みによりお知らせいただいた皆様の個人情報につきましては、当セミナーの運営にかかわる事務に利用させていただくほか、今後、実施するセミナー、研修会等のご案内をさせていただく目的以外には使用致しません。

